令和７年度　　第５学年　音楽科　年間指導計画／題材の評価規準

【第５学年及び第６学年 目標】
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
(2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
(3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

学習指導要領との関連
主な学習内容
A 表現
B 鑑賞
〔共通事項〕
ア★音楽を特徴付けている要素
☆音楽の仕組み
イ音符、休符、記号や用語

東京都小学校音楽教育研究会 山の手Ｂゾーン大会
公開授業　第５学年「世界の音楽でつながろう～ハンガリーの踊りの音楽～」
港区立青山小学校 主任教諭　佐々木　望美

学期	◎題材名（時数） 主な教材　〇歌唱　●器楽 □音楽づくり♪鑑賞 （共）共通教材	題材の目標 (1) 知識及び技能の習得 (2) 思考力・判断力・表現力等の育成 (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養	(1)歌唱	(2)器楽	(3)音楽づくり			題材の評価規準 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	◆視点３に関わる事項
1学期 19	◎歌声をひびかせて 心をつなげよう　（3） 〇すてきな一歩 〇こいのぼり（共）	(1) 曲想と音色、旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2) 音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。	アイ ウ(ｱ) (ｲ) (ｳ)				ア★**音色**、リズム、**旋律**、**強弱**	①曲想と音色、旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知：歌） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌）	①音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌）	①曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（歌）	◆社会科「世界の中の国土」 ・日本の国土の特色を世界の国々と比較しながら理解する。 ◆学級活動 ・ハンガリー紹介動画１「ハンガリーってどんな国？」を視聴し、ハンガリーの国の特徴を知り、文化に親しむ。 ◆総合的な学習の時間「ハンガリーの音楽と踊り」 ・民謡音楽家との交流を通して、ハンガリー民謡の音楽と踊りに親しむ。
								・『すてきな一歩』の曲想と音色、旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解して歌う。 ・互いのパートや伴奏を聴いて二部合唱をする。 ・『こいのぼり』の歌詞の内容を理解したり、曲の特徴について調べたりして歌う。 ・曲の特徴について調べたことを生かして歌い方を工夫する。 ・曲の特徴を生かして呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う。			
	◎音の重なりを感じ取ろう （6） ●星笛 〇いつでも あの海は ♪弦楽器の仲間 愛のあいさつ ♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第１楽章	(1) 曲想及びその変化と音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、イ短調の楽譜を見たりして演奏する技能や、音色や響きに気を付けてリコーダーを演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 歌声や楽器の音の重なり合う響きを感じ取りながら表現したり、味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる音の重なりに親しむ。	アイ ウ(ｳ)	ア イ(ｱ) ウ(ｱ) (ｲ) (ｳ)		ア イ	ア★音色、旋律、**音の重なり**、調 ☆**音楽の縦と横との関係**	①曲想と音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：歌・器） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、イ短調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能や、各声部のリコーダーの音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器） ④思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌） ⑤曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：鑑）	①音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器） ②旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌） ③音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。（鑑）	①歌声や楽器の音の重なりに合う響きを感じ取りながら表現したり、味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 （歌・器・鑑）	
								・『星笛』の曲全体を聴いて曲想を感じ取り、イ短調の楽譜を見ながら主な旋律や副次的な旋律を演奏する。 ・リコーダーの音色、旋律の音の動きや重なり方に気を付けて、演奏の仕方を工夫する。 ・『いつでも あの海は』の曲全体を聴いて曲想を感じ取ったり、歌詞の内容を捉えたりして、主な旋律（上声部）を歌う。 ・副次的な旋律（下声部）を歌い、二部合唱をして、ア、イ、ウ各部分の曲想や旋律の重なり方の違いを捉える。 ・声の響きや声量のバランスなどに気を付けて、ア、イ、ウそれぞれの旋律の重なり方を生かした歌い方を工夫する。 ・互いの音を聴き合いながら、二部合唱や二部合奏をする。 ・『アイネ クライネ ナハトムジーク 第１楽章』を聴き、弦楽器の音色や特徴などについて知る。 ・旋律の重なり方の違いに気を付けながら曲を聴く。 ・いろいろな弦楽器の音が重なり合う合奏の響きのよさや美しさを味わいながら、曲全体を聴く。			

	◎いろいろな音のひびきを味わおう　（5） ●リボンのおどり ♪祝典序曲	(1)曲想及びその変化と、音色、リズム、旋律、音の重なりなどの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)いろいろな楽器の音色やそれらの重なりのよさを味わいながら表現したり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。		アイ(ｱ) (ｲ) ウ(ｱ) (ｲ) (ｳ)		アイ	ア★**音色**、リズム、**旋律**、音の重なり ☆反復、変化 イ　アクセント、ヘ音記号	①曲想と音色、リズム、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。（知・技：器） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器） ③多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。（知・技：器） ④曲想及びその変化と、音色、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：鑑）	①音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器） ②音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑）	①楽器の音色やいろいろな音が重なり合う響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（器） ②楽器の音色や響きの変化、旋律の移り変わりに気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	
	◎和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう　（5） ○●静かにねむれ □「静かにねむれ」の和音で旋律づくり	(1)曲想と旋律、和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、思いや意図に合った音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)旋律、和音の響き、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかや、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3)和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら表現する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。	アイ ウ(ｱ) (ｳ)	ア イ(ｱ) ウ(ｱ) (ｳ)	ア(ｲ) イ(ｲ) ウ(ｲ)		ア★**旋律**、音の重なり、**和音の響き** ☆音楽の縦と横との関係	①曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：歌・器） ②音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。（知：づ） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。（技：づ）	①旋律、和音の響き、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。（歌・器） ②音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。（づ）	①和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら表現する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。（歌・器・づ）	
2 学 期 19	◎曲想の変化を感じ取ろう　（8） ○夢の世界を ●キリマンジャロ	(1)曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)曲想の変化を感じ取って表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、他者と協力して一つの音楽をつくり上げる態度を養う。	アイ ウ(ｲ) (ｳ)	ア イ(ｱ) (ｲ) ウ(ｱ) (ｲ) (ｳ)			ア★**音色**、リズム、**旋律**、**強弱**、音の重なり ☆呼びかけとこたえ イ　ナチュラル、くり返し記号（1、2番かっこ）	①曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知：歌・器） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌） ③多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。（知・技：器）	①音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌） ②音色、旋律、強弱、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器）	①曲想の変化を感じ取って表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。（歌・器）	◆ハンガリー大使館との交流（音楽や踊り） ＊区内小学校で実施された内容を学級活動 ハンガリー紹介に生かす。

・『リボンのおどり』の各パートの旋律やリズムの特徴を捉えて演奏する。
・重なり合う響きの変化の面白さを生かして、表現の工夫をする。
・主な３つの旋律を演奏する楽器の音色や響きを感じ取って『祝典序曲』を聴く。
・オーケストラの響きの変化を味わいながら曲全体を聴き、紹介文を書く。

・『静かにねむれ』の和音と伴奏に合わせて主な旋律を歌う。
・ハ長調の主要な和音をトーンチャイムで演奏して、各和音の響きを感じ取る。
・和音の響きの移り変わりを感じ取りながら、伴奏と合わせて演奏する。
・和音に含まれる音と示されたリズムを使い、音の上がり下がりを意識して旋律をつくる。
・つくった旋律を和音と低音に合わせて演奏し、互いの音楽のよさを見付けながら聴き合う。

・『夢の世界を』の歌詞の内容を捉え、アとイの曲想の違いを感じ取って主な旋律（上声部）を歌う。
・副次的な旋律（下声部）を歌い、二部合唱をする。
・リズム、旋律、強弱、音の重なりなどに気を付けて、アとイの曲想の違いを生かした歌い方を工夫する。
・呼吸や発音の仕方に気を付けて、互いの声部や伴奏を聴き合いながら二部合唱をする。
・『キリマンジャロ』の曲想を感じ取りながら全体を聴き、曲の構成を捉える。
・アとイの旋律の特徴を捉え、楽器の音色、旋律、呼びかけとこたえなどに気を付けて、主な旋律のパートを演奏する。
・各パートの特徴を捉えて演奏する。
・担当するパートを分担し、アとイの曲想の違いを感じ取りながら、強弱や音の重なりなどに気を付けて、曲想にふさわしい演奏の仕方を工夫して合奏する。
・楽器の音色や響きに気を付け、互いのパートや全体の響きを聴き合いながら、曲想やその変化を生かして合奏する。

	◎詩と音楽との関わりを味わおう（3） ♪待ちぼうけ 〇冬げしき（共） 〇スキーの歌（共）	(1) 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) リズム、速度、旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 詩と音楽との結び付きについて考えて聴いたり歌ったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、日本語の歌曲に親しむ。	ア イ ウ(ｲ)			ア イ	ア★リズム、**速度**、**旋律**、**強弱**、フレーズ ・『待ちぼうけ』の言葉のリズムや抑揚、語感を感じ取りながら、詩の内容を捉える。 ・詩と音楽との結び付きや、曲の特徴に気を付けて聴く。 ・曲想や表現の工夫のよさを味わって聴く。 ・『冬げしき』と『スキーの歌』を比較しながら、曲想とリズム、速度、旋律、強弱や歌詞の内容との関わりを捉える。 ・呼吸や発音の仕方に気を付けながら、歌詞の表す情景や気分が伝わるように表現を工夫して歌う。	①曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：鑑） ②曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知：歌） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌）	①リズム、速度、旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑） ②リズム、速度、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌）	①言葉の抑揚やリズムと旋律との結び付きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑） ②歌詞の内容や曲の特徴にふさわしい表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（歌）	◆学校行事「開校150 周年記念式典」 ・学校や地域の歴史を知り、現在の自分たちの生活とのつながりに気付く。
	◎日本の音楽に親しもう（5） 〇子もり歌（共） ♪ソーラン節 ♪かりぼし切り歌 □日本の音階による旋律づくり	(1) 曲想及びその変化と、旋律、音階などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、音階、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、日本の音楽や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) 日本の音楽の特徴を感じ取りながら表現を工夫して歌ったり、即興的に旋律をつくったり、民謡の特徴を感じ取りながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、日本の音楽のよさを味わう感性を育む。	アイ ウ(ｱ) (ｲ)		ア(ｱ) イ(ｱ) ウ(ｱ)	アイ	ア★音色、速度、**旋律**、**音階**、**拍** ☆呼びかけとこたえ イ　フラット ・『子もり歌』を聴き、２つの旋律の違いを捉える。 ・２つの旋律の感じを生かした歌い方を工夫する。 ・呼吸や発音の仕方に気を付け、旋律の感じを生かして２つの旋律を歌う。 ・『ソーラン節』『かりぼし切り歌』は拍がある曲か、ない曲かを確かめる。 ・２つの民謡を聴き比べ、それぞれの特徴を感じ取り、日本の民謡のよさを味わう。 ・日本の民謡に使われる五音音階で即興的に旋律をつくり、音階や旋律の特徴を感じ取る。	①曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。（知・技：歌） ②曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：鑑） ③音の組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。（知・技：づ）	①音色、速度、旋律、音階、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の音楽の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのよう歌うかについて思いや意図をもっている。（歌） ②音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の民謡や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑） ③旋律、音階を聴き取り、それらが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ている。（づ）	①日本の音楽の特徴を感じ取りながら表現を工夫して歌ったり、即興的に旋律をつくったり、日本の音楽のよさを味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（歌・づ・鑑）	
	◎いろいろな音のひびきを味わおう（3） ♪威風堂々 〇ビリーブ ◆港区音楽鑑賞教室	(1) 曲想及びその変化と、音色、旋律、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて、理解する。 (2) 音色、旋律、音の重なり、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴く。 (3) いろいろな楽器の音色やそれらの重なりのよさを味わいながら聴く学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。				アイ	ア★**音色**、旋律、音の重なり ☆反復 ・オーケストラの楽器群（弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器）と各楽器の音色や演奏の特徴を知る。 ・主な２つの旋律を演奏する楽器の音色や響きを感じ取って『威風堂々』のオーケストラの演奏を聴く。 ・『ビリーブ』の曲想と旋律など音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解して歌う。	①曲想及びその変化と、音色、旋律、音の重なり、反復などの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：鑑）	①音色、旋律、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑）	①楽器の音色や響きの変化などに気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	◆学級活動 ・ハンガリー紹介動画２「ハンガリーの音楽と踊り」を視聴し、ハンガリーに伝わる音楽や踊りを知る。
3学期 12	大会授業 ◎世界の音楽でつながろう ～ ハンガリーの音楽 ～（6） 〇♪豚飼いが丘で 〇♪コオロギの結婚 □ハンガリーのリズムや音階による旋律づくり ♪ハンガリーの踊りの音楽（ヴェルブンク、カリカーゾー、チャールダーシュ）	(1) 曲想及びその変化と、リズム、速度、旋律、音階、反復などの音楽の構造との関わりを理解するとともに、音階の音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付き、思いや意図に合った表現をするために必要な、反復などの音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。 (2) リズム、速度、旋律、音階、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) ハンガリーの踊りの音楽の特徴を感じ取りながら表現したり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組み、諸外国に伝わる音楽や文化への関心を広げる。			ア(ｲ) イ(ｲ) ウ(ｲ)	アイ	ア★リズム、速度、**旋律**、音階 ☆**反復** ・ハンガリー民謡（ウグローシュ）を聴いたり歌ったりして、リズム、速度、旋律、反復などの特徴を感じ取る。 ・音階から音を選んで旋律をつくり、音やフレーズのつなげ方の特徴を理解する。 ・反復を使って旋律をつなげ、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 ・ハンガリーの踊りの音楽（ヴェルブンク、カリカーゾー、チャールダーシュ）を聴き比べ、それぞれの特徴を感じ取り、曲のよさを味わう。	①曲想及びその変化と、リズム、速度、反復などの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：鑑） ②音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。（知：づ） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、反復などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。（技：づ）	①旋律、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。（づ） ②速度、旋律、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑）	①ハンガリーの民謡を聴いたり、踊りの音楽をつくったりする音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（づ・鑑）	

	◎思いを表現に生かそう （6） 〇あの樹をあおげば ●威風堂々 〇国歌『君が代』	(1) 曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3) 思いを表現に生かす活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。	ア イ ウ(ｲ) (ｳ)	ア イ(ｱ) (ｲ) ウ(ｱ) (ｲ) (ｳ)			ア★**音色**、**旋律**、強弱、 **音の重なり**、フレーズ イ　スラー ・『威風堂々』の主な旋律（①のパート）を演奏して、旋律の特徴を捉える。 ・①のパートの旋律の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫する。 ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、それぞれのパートや全体の響きを聴きながら合奏する。 ・『あの樹をあおげば』の各部分の曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりを理解し、大切に歌いたい部分を見付ける。 ・曲の特徴にふさわしい歌い方を工夫し、互いの声部や全体の響きを聴き合いながら、心を込めて二部合唱をする。 ・『君が代』の曲想と旋律や歌詞の内容との関わりについて理解し、旋律の特徴を生かした歌い方を工夫して歌う。	①曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：器） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器） ③曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知：歌） ④思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌）	①音色、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器） ②音色、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌）	①思いを表現に生かす活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。（歌・器）	◆学校行事「学習発表会」 ・ハンガリーの文化、音楽や踊りなど学習してきたことのまとめを発表する。